

第29回触媒化学融合研究センター講演会

産総研触媒化学融合研究センターでは、様々な分野で活躍している大学、公的研究機関、企業等の方々をお招きして、講演会を開催することで分野の垣根を越えた連携の実現を目指しています。

今回は「触媒材料の固体NMR」をテーマとして下記の通り開催いたします。多くの方々のご参加をお待ちしております。

日時:2016年 3月 4日(金)15:00~17:00

場所:産総研第5事業所第2本館 第3会議室(5-2-6602室)
(茨城県つくば市東1-1-1)



産総研ありす 産総研でれす

講演概要:

◆“Catalysis and surface, photon view and NMR view”

＜講師＞ CNRS-UPMC (Paris VI) Dr. Juliette Blanchard

Juliette Blanchard博士はフランスCNRSに籍を置き、パリ第六大学(UPMC)に働く研究者で主に触媒材料表面の分光学的観測を得意とし、XAFS、FTIR、固体NMR等を駆使して構造解析に基礎を置く総合的な触媒研究を進めておられます。博士は固体NMRを用いて¹⁷Oエンリッチによりチタニア表面のTiOH基の分離観測に世界で初めて成功した実績もお持ちです。今回は、シリカアルミナ系触媒表面の¹⁷Oエンリッチによって固体NMRによる表面の弱い酸点の構造解析手法の開発をめざした研究推進のために来日いただきました。本講演においてはこの研究において我々が目指す目的とその進捗状況についてお話いただくとともに、最近リニューアルしたJussieuキャンパスラボでの研究についてもご紹介いただきます。

◆“固体NMRの基礎から応用”

＜講師＞ 京都大学大学院理学研究科 竹腰清乃理 教授

竹腰先生は永年にわたり我が国の固体NMRを理論、装置開発、手法開発から実測定、教育、啓蒙といったあらゆる方面にわたって牽引し続けてこられた我が国の第一人者です。このたび、当センター講演会において表題にてご講演いただくこととなりました。前半で固体NMRになじみの薄い初学者をも視野に入れて固体NMRの基礎についてお話いただきます。また後半の応用の部分では当センターに関係の深い四極子核を含む無機固体材料を中心に話したいだけのことです。言いにくい苦言もさらっと軽く言っただけのような独特の語り口で、一瞬で肩の凝らないリラックスした雰囲気をつくりだす名人芸の持ち主です。ぜひご堪能ください。

【問い合わせ先】 触媒化学融合研究センター 担当:白川

E-mail:irc3-kouenkai-ml@aist.go.jp TEL:029-861-2763

H P :http://irc3.aist.go.jp/